

一宮町長
馬淵 昌也

一宮町では、小学校から中学校にかけて、スポーツやダンス、音楽など、さまざまな分野で日々努力を重ねている方が多くいらつしやいます。その中には、県レベル、さらには全国レベルで活躍されている方も数多くおり、町にとって大きな誇りとなっています。

ご存じのとおり、本町ではサーフィンが大変盛んで、東浪見小学校では多くのお子さんがサーフィンに親しんでいると聞いています。オリンピックに出場した大原選手、稲葉選手といった先輩方の活躍に続くこと、国際大会を目指して挑戦を続ける若い世代の姿は、大変心強いものがあります。

また、サーフィン以外にも、空手、剣道、テニス、バドミントンなどの競技が盛んで、チームや個人の活躍が広報紙で紹介される機会も増えています。チャリーディングでは世界大会での優勝という快挙もあり、レスリング、柔道、陸上競技、自転車競技、太鼓の全国大会など、さまざまな分野で活躍されている方がいらつしやいます。さらに、高校生ではクライミング競技においてアジアユース大会で準優勝するなど、役場に掲示する懸垂幕や横断幕の製作が追いつかないほど、目覚まし

い成果が続いています。

こうした活躍は競技面に限らず、学習面においても目標を持ち、努力を重ねている姿が多く見られることも、大変頼もしく感じています。

このように、それぞれの分野で高みを目指して挑戦する姿は、学校全体の雰囲気明るくし、互いにより刺激を与え合う原動力になっているのではないのでしょうか。

近年、全国的には学校生活に関するさまざまな課題が報じられることもあります。一宮町においては、比較的落ち着いた学校環境が保たれていると感じています。その背景には、子ども同士が互いを思いやり、尊重し合う関係が育まれていること、そしてご家庭や地域の皆さまの温かな支えがあることが大きいのではないかと思います。さまざまな悩みや困難を抱えながらも、多くの子どもたちが前を向いて努力を続けている姿は、私たち大人にとっても大きな励みです。

私たちは、この一宮町の小中学校に息づくよい気風を、これからも大切に育み、次の世代へとつないでゆくために、引き続き力を尽くしてまいります。